

## 平成31年3月臨時教育委員会会議

- 開催日時 平成31年3月15日（金）午後3時1分～午後4時2分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 会議室302
- 出席委員 教育長 川村 等  
教育長職務代理者 岡見 文彦  
委員 信樂 哲  
委員 原 キミ  
委員 大槻 啓子  
委員 大崎 千帆
- 事務局出席者 教育委員会事務局次長 大須賀 規幸  
教育委員会事務局次長兼国体推進担当参事 佐藤 由起子  
教育委員会事務局参事兼教育総務課長 大沢 英樹  
鹿嶋っ子育成課長 鈴木 欽章  
教育指導担当参事兼教育指導課長 山口 久弥  
教育センター所長 小室 富保  
社会教育課長 浅野 敏勝  
スポーツ推進課長 飯塚 俊行  
国体推進室長 山口 和範  
中央図書館 菊本 義人  
中央公民館長 東峰 由美子  
学校給食センター所長 津島 応紀  
教育総務課課長補佐 久保 美由紀  
教育総務課主事 石毛 千遥

○ 議 事

1 議 案

- |     |        |                         |           |
|-----|--------|-------------------------|-----------|
| 非公開 | 議案第12号 | 職員の人事（普通退職）について         | （教育総務課）   |
| 非公開 | 議案第13号 | 県費負担教職員の人事について          | （教育指導課）   |
| 非公開 | 議案第14号 | 職員の人事（4月1日付け学校関係職員）について | （教育総務課）   |
| 公 開 | 議案第15号 | 学校医等の人事について             | （鹿嶋っ子育成課） |

2 その他

※ 非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会が宣言された。

2 議事録署名人の指名

大崎 千帆委員が指名された。

3 議 事

【非公開】

- |         |                   |
|---------|-------------------|
| 議案第12号  | 職員の人事（普通退職）について   |
| （教育総務課） | 職員の願により退職を承認するもの。 |

※ 議案第12号については、原案どおり可決された。

- |         |  |
|---------|--|
| 議案第13号  | 県費負担教職員の人事について   |
| （教育指導課） | 平成31年4月1日付け鹿嶋市立小・中学校の教職員の人事異動について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第38条の規定に基づき、茨城県教育委員会へ内申の手続きを行うもの。 |

※ 議案第13号については、原案どおり可決された。

- |         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 議案第14号  | 職員の人事（4月1日付け学校関係職員）について        |
| （教育総務課） | 平成31年4月1日付け学校関係職員の人事異動を承認するもの。 |

※ 議案第14号については、原案どおり可決された。

## 【公開】

議案第15号  
(鹿嶋っ子育成課)

学校医等の人事について  
願により学校歯科医1名を解き、新たに1名を委嘱するもの。

## 【主な質疑・意見等】

特になし

※ 議案第15号については、原案どおり可決された。

## 4 その他

- ・いきいきゆめプール竣工式について
- ・県立高校の再編について

## 【主な質疑・意見等】

(委員)

先日、県立高校の再編の記事がでていて、鹿島高校と銚田一高が中高一貫校になり、中等部を1クラス併設するというので、2020年には開校するということが載っていた。そのために市町村の関係者を呼んで、協議を進めているということで、子ども達にとって選択肢が増えることはいいことだと感じている。鹿島高校の近くには鹿野中学校があるが、生徒数が減ってきている印象を受けており、その辺りの影響等、現段階で分かっていることはあるか。

(教育指導課)

2020年開校ということで、今の小学校5年生から対象になる。また、鹿嶋市だけでなく近隣から生徒を募集して、3年経つと、1年生から3年生まで生徒が揃うことになる。平成31年度は準備ということで、鹿嶋市から教諭1名、鹿島高校へ派遣され、カリキュラムの編成や、制服、体操服、試験内容をどうするか等を4月から1年かけて準備し、新入生を募集するという流れになる。

(教育長)

中高一貫校となれば、鹿島高校では、現在ある高校の学級数が1つ減り、中学校の学級数が1クラス増えることになる。

(委員)

県の教育委員会から鹿嶋市の教育委員会へ具体的にどのような話があったのか。例えば、鹿島地区として重点を置く特色や、それに伴うカリキュラムの作成や進行等の話はあったのか。また、鹿嶋市教育委員会として、導入に当たり計画等あるか。

(教育長)

具体的にどのような子ども達を育てていくかというのは今後、数年の内に県内で新たに10校一貫校が開校するがどこも同じで、例えば、起業家精神の育成を図って、ベンチャー企業を立ち上げられるような人材を育てていこうということがある。今まで、中高一貫校は限られた地域にしかなかったため、その他の地域でも作っていこうということで、今回10校が新たに設置されることとなった。市町村としては、

高校には義務教育の部分のノウハウがないため、付属の中学校に学校の教員を派遣するということが仕事になる。また、給食についても、鹿嶋の子ども達と同じものを食べるようになる。

もともと鹿嶋の子ども達は遠くに通うことが多い。進学をするのに佐原や銚田に通う。もっと遠い方だと成田に通ったり。そのような子ども達を地元できちんと育成して、進学まで面倒をみていくということが今回の大きな狙いとなっている。今回中高一貫校を導入することによって、既に導入されている日立市と同じように鹿島高校の他のクラスもレベルが高くなって、高校を卒業した後の進路が全体的に進学にシフトしていくのではないかと考えている。

(委員)

先日、野田市の子どもの虐待事件があったが、長期欠席していたことに対して学校や教育委員会の対応が後手後手になってしまったこと。また、本人のアンケートを父親に見せてしまい、さらに虐待がエスカレートして、彼女の死に繋がってしまったということだった。学校、教育委員会、児童相談所、それぞれが対応していたと思うが、適切な連携ができていなかったという印象を受けた。ニュースで文部科学省が現場での適切な対応マニュアルを作成して全国の教育委員会に通知したと報道されていたが、そのようなものが届いているのか。また、現場で対応マニュアルを適切に作って研修会で周知徹底を図って、とにかく迅速に芽を摘んで対応して、大切な子どもの命を守らなければならないと感じている。

(教育指導課)

文部科学省からのマニュアルについては、まだ確認できていないが、文科省から調査がきており、鹿嶋市内、全ての小中学校に対して長欠で中々姿が見えない子ども達の確認をするものであった。確認というのは目で見て、元気であるということを確認するものであった。鹿嶋市では日頃からの家庭訪問でも常に声だけではなく、必ず姿を見て確認しましょうということで、17校全てで行っている。次に虐待関係だが学校、教育指導課、教育センターやこども福祉課がそれぞれと連携を取っており、疑義のある案件は各学校から教育指導課またはこども福祉課に報告があり、経過観察中のものが何件かある。

(委員)

野田市の虐待事件で父親が教育委員会に来て恫喝して、あまりの恐怖にアンケートを見せてしまったということがあるようだが、その時に感じたのがスクールロイヤー等の専門家や警察をお願いして備えておくことはできないのかと感じた。

(教育指導課)

弁護士については、鹿嶋市でも顧問弁護士がおり、今まで保護者の対応等で難しい案件については顧問弁護士に相談し、アドバイスをいただいている。また、警察については現在、積極的に生活安全課に繋いで、警察の立場から助言いただくというケースもある。そのため、学校は教育委員会、こども福祉課と連携しながら対応している。また困

り感のある家庭には今まで寄り添ってきた経緯があるため、これからもそのようにやっていきたいと考えている。

(教育長)

茨城県の場合、県内の児童相談所すべてに、教員出身の児童福祉士が1人ずつ配置されており、地域の学校と児童相談所の関係はスムーズである。ただ1名で十分なのかというのは、学校からの事案が増えれば、教員出身者を増やしていく必要はある。

(委 員)

各学校では欠席の場合に必ず電話連絡を毎日して、3日休んだら必ず家庭訪問をしている。そのような事柄について生徒指導主事は研修会を行っていて、その研修会の情報を学校全体でも共有して、実践している。また、鹿嶋市では教育センターが不登校や教育支援等の案件について、一括して学校をサポートしており相談しやすい場所になっている。先程あったように、保護者が恫喝するというときに、虐待を疑うと、保護者は学校に対して敵対心をもってしまう。その時に行政や教育センターなどが第三者として、学校対保護者とならないような体制ができています。

(教育指導課)

長欠、不登校の児童生徒については市の重要課題として、対策を練っている。休んでしまっただけからの対応も大切だが、児童生徒が学校に居場所がある。そんな学校にしていこうということで、勉強だけではなく、学級づくりや部活動、友達づくりなど大切にしながら、各学校で魅力的な学校づくりに取り組んでいる。

- ・祭頭祭について
- ・鹿嶋市教育委員会関係日程について

## 5 閉 会

教育長から閉会が宣言された。

議 事 録 署 名 人	教 育 長
	教 育 委 員